

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立愛川ふれあいの村

指定管理者 財団法人 神奈川県ふれあい教育振興協会

施設所管課 支援教育企画課

(平成 22 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月10日	5月28日	適正に行われている。
5月	6月10日	6月24日	同上
6月	7月9日	7月21日	同上
7月	8月10日	8月20日	同上
8月	9月10日	9月15日	同上
9月	10月8日	10月18日	同上

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

< 提案内容の概要 >

- グラウンドを常に安全・快適に使用できるよう提供するとともに、近隣の民家への土埃の飛散を防ぐために計画的な人員配置と整備計画により、常に安全・快適に使用できるグラウンドが提供できるよう努める。

< 実施状況 >

- 非常勤職員1名、臨時職員4名を配置し、常に状況を把握しながら、草刈作業計画を作成し、その業務にあっている。また、近隣住民からの要望があった場合は迅速な対応ができるよう努めている。

< 提案内容の概要 >

- 施設の維持修繕は、活動の安全確保と事故防止のうえで重要な事項である。日常的な安全点検を行い、破損等については、迅速な対応に努めてまいります。

< 実施状況 >

- 宿泊棟、体育館の雨漏りが毎年のように発生している。利用者の活動、生活に支障をきたさないように迅速な補修工事はもとより、職員による雨漏りの対応、予約者への事前周知などを行うことにより、利用時の混乱防止に努めている。

< 提案内容の概要 >

- 利用者のサービス向上に向けた、インターネット等による豊富な情報を提供する取り組みを行う。

< 実施状況 >

- ホームページの内容を月に2~4回程度更新し、情報の提供を行っている。また、提出書類(利用申込書、活動計画書、簡易宿泊者名簿)、各種資料(リーフレット、村内マップ・宿泊棟・野外炊事場見取り図)のダウンロードが可能である。また、次年度学校利用に関する提出書類のダウンロードも可能となり、利用者の利便性向上に努めている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	159,564	148,022	2,893	157,155	2,409
上半期計 (a)	82,020	74,023	1,499 (1,462)	72,057	9,963
下半期計 (b)					
4月	11,451	10,519	405 (372)	5,190	6,261
5月	11,932	10,513	141 (207)	11,352	580
6月	20,197	18,868	100 (70)	18,680	1,517
7月	12,989	11,776	61 (60)	11,440	1,549
8月	13,343	11,169	443 (359)	12,444	899
9月	12,104	11,175	348 (385)	12,948	△844
合計 (a+b)	82,020	74,023	1,499	72,057	9,963

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・警備・宿日直、清掃、寝具リースに関する入札残に伴う執行残、履行確認後翌月払いに伴う収支差額増。
なお、執行残は、施設閑散期に行う修繕等に充当する。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	90,287 人	92,251 人	△2.1%
下半期計 (b)			
4 月	12,935 人	12,247 人	5.6%
5 月	15,831 人	16,092 人	△1.6%
6 月	16,870 人	17,830 人	△5.4%
7 月	17,969 人	17,560 人	2.3%
8 月	14,250 人	14,218 人	0.2%
9 月	12,423 人	14,304 人	△13.2%
合計 (a+b)	90,287 人	92,251 人	△2.1%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

該当なし

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計	報告月	口頭	文書	合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート					
4月					50	50	10月			0
5月	1	1			89	91	11月			0
6月					87	87	12月			0
7月					88	88	1月			0
8月					139	139	2月			0
9月					69	69	3月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者から評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	トイレの臭気が強かった。	業者のトイレ掃除とは別に施設整備日に行うトイレ清掃や消臭剤を置くなどの対応を行った。また、排水が悪い便器の交換を予定している。
	野外炊事の雨天食事場所として使用していた自然観察棟が使用できないので不便だった。	自然観察棟の改修工事は、予算の都合上、対応できていない。
	食堂のテーブルの間が狭い。	テーブルの配置を変えるなどの工夫をして、テーブルの間隔を広げた。
職員対応	・なし	
事業内容	・なし	
その他	味付けの表示があるとよい。(特に辛いもの)	メニューの中に唐辛子を使用しているものについて、その使用を表示した。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	該当なし		

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

<施設の維持修繕>
 昨年度に引き続き、宿泊棟や体育館の雨漏り、トイレの悪臭など、施設の維持管理について、安心・安全な施設を目指し、職員や業者による小破修繕を行ってきた。また、現在使用していない旧ボイラー設備、地下タンク貯蔵設備、第二テントサイトの浄化槽設備等の危険物や自然観察棟などについては、法令に沿った撤去・解体などを進める必要がある。
 今後も、県の担当部局と連絡を密にして必要な対策を講じていき、利用者の安全・安心を確保していきたい。

<上半期の総括>
 指定管理最終年度に伴い、様々な業務に迅速かつ円滑に取り組むとともに、5年間の総括に努められるようにする。

(1) 施設管理
 雨漏りが深刻化してきた。宿泊棟や体育館、集会室などは、降雨時に雨漏りが発生する頻度が多くなってきている。利用者には、活動に支障を来さぬよう対応に努力するとともに、業者による補修作業を行っている。しかし、雨漏り被害はいつ頃に解決には至っていないのが現状である。根本的な解決は、屋根の全面改修を行わなければならないと考えていることから、引き続き協会本部を通して県教育委員会へ要望していきたい。

(2) 食品の安全管理
 食堂運営にあたって、利用者に対する食堂従業員の接客対応の不十分や不注意による事故・苦情等がないように、食堂店長に対して従業員への指導を徹底するよう口頭指導するとともに村事務所と食堂との連携強化を図った。また、職員の検食等の内容を見直し、食の安全管理を徹底した。今後も、食堂業者に対し適切な指導を行うとともに食品衛生管理体制の充実を図っていきけるように努める。

(3) 保健衛生管理
 7月～8月にかけて猛暑日が増えたことにより、熱中症と見られる子どもや大人が数名保健室を利用するケースや救急車による病院への搬送件数が増加した。職員及び利用者に対して熱中症予防等の体調管理に留意するよう呼びかけた。
 これから冬期を迎えるにあたり、昨年度のようなインフルエンザやノロウイルスの流行等が懸念されることから、感染症予防対策の体制を整えるように努める。

(4) 不登校対策
 不登校児童・生徒の学校復帰への支援事業を積極的に取り組み、効果的な事業を展開するとともに、職員が本事業へ積極的に関わることで職員の能力向上を図っているところである。
 また、本年度の下半期に地元高等学校との交流する初めての取り組み等、引き続き事業が控えていることから、関係機関と連携を密にして、効果的なプログラムを計画し、事業実施へ繋げていけるように努力する。

施設所管課

- 施設の大規模改修については対応が難しい部分もあるが、引き続き所管課として関係室課に対し修繕要望(100万円以上の工事)をしていきたい。
- 上半期は、猛暑日が続く熱中症の症状を訴える利用者への迅速な対応と予防に努めたと思うが、下半期は昨年のような新型インフルエンザの影響等も予想されるので、引き続き感染症予防対策に努めてほしい。